

二〇一二年 第二問 知識テスト

問一、説話にジャンルされる古典作品を3つ挙げよ

日本霊異記、今昔物語集、発心集、十訓抄、沙石集、打聞集、三宝絵など

問二、仏教説話について説明せよ

伝説や実話、エピソードを素材にして、神仏への信仰を一般庶民に説くためのもの。

問三、和歌の修辭法を知る限り箇条書きに列挙せよ

枕詞、掛詞、縁語、本歌取り、序言葉、体言止め、見立て（比喻）、折句、句切れ、対句、

問四、吉野山は、現在のどの都道府県にあるか？（日本史選択は、旧国名も）

奈良県（大和国）

問五、古文で「山」と言ったら、普通、どこの山をいうか。

比叡山。ちなみに、川は「賀茂川」、寺は「園城寺（三井寺）」祭は「葵祭」を意味する。

問六、能は何時代に成立したか？

室町時代。足利義満が保護した観阿弥・世阿弥親子によって大成した。

問七、「やまのは」と「やまぎは」と「やまのいただき」をイラストで示せ

（イラスト略） やまのは＝山 やまぎは＝空 やまのいただき＝山頂

問八、『般若心経』を唱える宗派と、唱えない宗派の代表例を挙げよ

浄土真宗と日蓮宗のみ、般若心経を唱えない。それ以外は唱えるとしてよいだろう。

問九、「後朝の別れ」の読みを平仮名で示し、意味を答えよ

きぬぎぬのわかれ。深夜に男女が衣を重ねて逢瀬を行った後、早朝に別れること

問十、次の単語（慣用句）を現代語訳せよ

- ・ ことのわづらひ 面倒
- ・ ことのほかなり 思いのほかだ。意外だ。
- ・ ことのたより なにかをするついで
- ・ 匹夫 普通の人
- ・ えせぬこと できないこと
- ・ かたじけなし 恐れ多い。もったいない。
- ・ のたまふ おっしゃる
- ・ かまへてべし ぜひともくしよう（してください、しなさい）
- ・ かたち 容姿
- ・ ちぎり（三種類答えよ）（一般的）約束、（男女）一生連れ添う約束、（仏教）前世からの因縁